た,至0

事業全部容認 一大九九五十二年度 五、九0一三、六四九

計数整理ノ陽県動ヲ生ズルコトアルベ

四、空 回に関 三、回00

E . 100

へ、言の 五二四四

北、門六

大野總監、林財務局長らが連日奮鬪の結果

以務總監、「孝全部が認められ大成」なつた上の本権業年度「治水計畫を始め新規事」議にかけられることと上の本権業年度「治水計畫を始め新規事」議にかけられることとで、廿二日の閉 功裡に廿一日深更に至 大成功裡に昨深更決定す

林財務局長は語 編成の主百を體し萬遺憾に手を 殊に新總置就任最初の大

成功だ

大きな異項に関し施設の

不能が認められたといっことは

り置強されることになれば十分 明朝だといふ、これが設置を連 の単語を記事して間間せられた の単語を記事して間間せられた の単語を記事して間間せられた の単語を記事して間間せられた 日夜光軍大使がストモニヤコ 獨支間に鐵道 値を示してあるが、コ エート政府は新漁業保

情気が成が の問題」構造形は

(1) 入城中廿二日昭任 (1) 入城中廿二日昭任

右衛河道の取入を以て指保)信題地段十二年

老人はとかく。 読後の創業が

これが日本の人物に

ドイツ側は中国景行を保険

野華一大佐(新任銀)詩男禮部

學良と政治的妥協を行はず 一文政策は不縁

南總督は欣然と語る

明和十二年度明証職所后特別的問題或決定の



し読書なる同情の夢を返し、事物が選かに著者し蔣飛石既が突事的態態後は初の節起を行つた、まづ川越大徳は同事館にを確請外交為に崇靡高長を訪問、高宗武龍淵が長立宮の下にを帶間外交為に崇靡高長を訪問、高宗武龍淵が長立宮の下に 事論選されんことを作る言様形を述べた。これに對し些語 |敷重な謝經を遂べ西安事物の順米を詳細説明した、次い三月謝してゐる、同情的態度を動けられんことを望む||新してゐる、同情的態度を動けられんことを望む||今回の事件に日本の示した好意ある態度に對しては非常に尽 日午受四時年消水通前

的妥協を行ふ考へは毛頭ない、外・政策についても以来あるが、國民 政府は 既に學良を斷乎 處分することには想じに家民のが比較感覚に対している。解語が長は、 に再工員下領時總額班、高亞洲可長間に進作中の日支部目交渉の促進方を整度する所あり、午後次時年序誌を終つた 政策についても以前と何等變化ない」と前した。用語子處分することに決定し対伐を行つてゐる、彼と政 『事件の早急なる解決

> も金が伴ひ、入るところが でりまであるがどれもこれ くて出て行くばかり

> > 八千萬風あると片 福から片 どれもこれもやりたい。

ざうだるお殴のいふ通り、おい

特事業といっぱピンから

畆 盦 事業

けでもお逢ひする暇さへた

何分器監がお他し

れ曲が安見たが結局に於て四個 省との指面は多大の疑問が問題

原理、財政法務局長代理」ためが抗局に原理、財政法務局長代理」ためが抗局と

不府局長會議

一百二十八四を取り

の正して保護司を超くこと、な 下二十万名で外に百五十名位を 下二十万名で外に百五十名位を の上の始され、職員は保護司以 の上の始され、職員は保護司以

川

その他新規事業等によって大

般質計學人會問題を初めとして和十二年度本階級問意計算のは

場から見て大した影響はないもの

、千八十四個を提出常時の三成

題と見られ

は飽活所得税のみを主張してゐた **2見られる。一方版入經常部の三**

十九直側の増となってゐるので

を初め内閣本位の朝鮮に對する認識が深まを初め五倍者關係官の秀力と大韓信格局長を初め五倍者關係官の秀力と大韓信誠に京ばしい、これは大師政務總院、林財に於て魏りなく科宗祖度に認められたとは、に於て魏りなく科宗祖度に認められたとは

官から通報を受けた、こちらの要求が總領本府の豫章折衡に続いては東京派遣中の係

閣議で決定

便り証明

になつて来る、内地の年分 例してこの社會事件は必要

ほかり云つてもんら

出習が廖中で押入い見入る。お一

たなり

は依然屋便のやうで蔣介石氏の

曾見後 |

と思つてゐる、仕事はどだけでも朝鮮に願行したい

宋子文氏が廿日夜 蔣氏
と
會見

その結果を齎して南京歸來

二十二日父母左の如き異動を行ふ旨の更迭を始め大異動を行ったが

東京電話」小川商田はさない二次

商工省異動

ととし、同日の開議に明確正式

特許局長官

本府辭令(二十一日附)

(二十二) 日射

旋并人呆 神解不念

ける更に西安へ急行

結果、二十二日に再び西安に向け急行するび後を徹して行はれた國民政府要人館職の の感見をも似する響である 南京に顕張したものでサー日の歌歌高 ものと見られてある。なほ宋子文氏は北上

任商工次官 (1等) 特許局義務部長

任特許局長官(三等)

銀州一つてあやうとは野にも想はなかつ

感にしてゐた際長衛が、石窟にな が、それがかれておのが親父と思

んだ。」

御電下さい

「ゐねえのかこ」

際共衛といふ 名は聞いてゐた

目のかつたから

「どうした坊さ

込んだ。

保

世二繪作

13

から記述と 会れ一般優に二個以上の は打ちし 関打ちし

祭二

を見ると同時に、あっとばかりに いンちやねえかご を見ると同時に、あっとばかりに いンちやねえかご たのであらら。配吉は歌兵衛の顔 「そいつておめへの梁しやらが思たした。

前年度ノノイ

俯

から發表

百餘萬圓

信財特別郡、輸出統制郡、輸出 ハッリン消費度、法人財命政、外リン消費度、法人財命政、外リン消費度、法人財命政、外リン消費を表現の歴史に留めて選

くことに決定した、しかして引一徴税に付いては現行通り増え圏

砂糖織物、酒その他の消の二つで、作べられるが如こ

三、六00

恋々智順するこることに決定しても色々取沙汰されてゐたが、

後の財策を協議したが、その結果を難して

和子文氏は二十日夜西安に於て野野良と共 上所作石氏と自紀後、特に保民の退階を求

縦して脚部した結果、実実齢天人は宏子文「上海二十二旦同盟」 蔣代石是親書は夜を 氏と共に二十二日朝飛行機で南京和西安に 宋美齢夫人西安へ急行

命特許局總務部長(三等)アガつて降めン 任商務局長 (19) | 「上班 「ど、どこへ いかうツ てんだ。 | 場まで探し廻つたんだが、どこへ

生どん、お へ、今後げちゃ いわえてい

布特許局審判部長(二等)

さんがいる拾び物を 見當がつかねえんだ

「それてどらも懸念だの。おめへ

佐願完本目(各通)

それこそどんな目に選ぶか知れた。そから、おれアどんなに樂しみにいいつてんだ。そつもへ出たら、さんカいく投び数をして来たッで いら しつとも 連く上ン してえたか知れねえんだ。 そいへん がやねえ ちつとも 連く上ン してえたか知れれえんだ。 そいつ

な話おやねえか。

そた、おめへにも似合はねえどち



が耐か

一、株貴(湖南省株州)





めへがおもてへ出てもう、度柳金「いけねえよ。真くに出て行つて「どうもかうもありアしわえ、お「人なもんだ」 とも速く、押人へ語してでんね 一どらか小父さんじ いくら探し

いで。……1 んだだら

祝/上献/!

大陸重型調査門買収の目安立

本日タ刊

八頁

何が何でら

世二日は日の東子副が生日

権としても、長置さしまずかなのために、施設目在の定態は結

天地玄黃

いてあった茶碗 狂いで持つて

特價八十銭 (オー雄) 振振原品・元目の 果然物凄い大資行 - お求めは大至急 作歌樂・小倉藤物職また大元賞、大神神大郎、第京藤昭氏等の樹脈大道、 读诗、長诗、居民歌語·校歌、

!著名大。携义人代我。交社: 党々百五十餘篇·四八 O頁! **建加 篇题**於 慶 弔 篇 篇 篇 何人にも應用自在・ 説を家悉く御教館・真に卒前の大が続き この顔觸れ、この演題!

詩歌集

大作躍-

歳末迫る餅つき

アチコチに掛聲明ましく

凍てつく街の風景

一合様々とたもこめる後の

破ってゆく

明 来を含めて借室のかたに基映食区 中間を始めたが巡与生通古に協入り へ

下版 1年2750が廿一日午登五時 では解放代が必要だと所辞金十八紀 2000年 1月27日 1日午登五時 では解放代が必要だと所辞金十八元 2000年 1日午 200

加を受取り、最上に行せておいた

今度は、超量和信アパートを興盛に一この百段店に勤めるまはないかと、客へ周出、目下犯人担意中

見物の田舍者から捲揚ぐ

……〇师走も僻遇き風景が町

と厳末の迫つたのを歌する。

押し売し、その仁新学中の商店が必当の代配に卅尺の二大ダンを

ムが、またもや奥如大侠歌し、問 を起した秋川県尾去部鎌山中部プ

線社名を出し直もに花。二声に第2款をあったが生命無事。 もの、扱き紙干団

) 中等試

驗實行委員會

田田組人夫四十名のら | 輪頭に収得された、その時社宅

行ったが、おっかか用に増え起った

風岩流の構作組かあるのな種見、単何の要、パコタ公職後壁に名が

/夫廿名が重輕傷

ラック二戸を泥。に召み込んで瓜

書い、別近一帶に泥濘と化し

學務局の方針に併行し

して、各連では各公一二目が定した、これに對して本府一般方法に就いて設策な

最からいよくし質施することに甘一直委員門を設置、敗正後の入學試

學務局でに朝鮮散武師とタイアツ

愈よ明春新學期から實施

みで走り出したものと判明したが一起が腕してなかつたため自然に重一

してなかつたため自然に重しの他で殴出した、小曹炎定事故の別 日子文の ロンデス・電子・電話の 出事の概念 不適にも窓道句では今夏 足で戦そ 無国用達定 規律を登録 308

定を成案し近日中に出すばかりに

変に位べて彼女な除りにみすぼ

いのに娥謡がさしたか、そのま

満洲籠の鳥

今般天 瓦黎報

复北 西 图

概 過 才

鳴らし直もに花輪者、青年駅武等た。狭淵と同時に非常サイレンを

たも尾去澤鑛

大ダム决潰

防禦のため新築中のもの

観町京城駿三県公園林町から観火サー日午後十時五十分ごろ京城廟 縦穴した、 関助を全域して同十一時四十五分

製材所の火事

の廿一日夜十一時ごろ京城網路祭

姓びるといふものです

冬の短い日の最短レコード 甘二日は冬宝でこれがこの

日で、またあずから日足も

慌しい師定の習音もまだ絕えきら

早くも凍死

けふは冬至

朝鮮人是化

版末家分の可工行ふ

今度は機関車が激突

皮肉・事故防止規程の出鼻

ふ改組成る

軍部官民ら關係者

というない。 離れる脚谷湖、龍切に於て統一するなど、個へとを選。 離れ我が都を 2の 六 —— 燈火管制は 京城府廳に會集して審議 ☆――佐火曽制は 京田野

機脈後につき結為研究を重ねてあ 有抵抗し一系第れの統
動と強化を

域と脚足、多人数を収容する冒頭 銀行財配、高加佐活物とにはそれ は所我の手で掌握して、題に影像と、部門で研測版を編成させ総格 としてみたものを改編し、防酸山 緊密な連絡を保ち

千両囲に達したが、蔚啟園器分割 「土間がこの程本府起館器へ該附る一般し、廿二日現在では五十四萬六」が取纏めてゐた義坦東第一回分八

満洲國から

四十一種目が追加され傾重に取締

1一〇五甲浩伊氏万へ一名の男か一ので本町署へ埋むり瀬田た廿一日年映四畦ごろ京城明倫町四一が歩る十一月廿六日菱を彫る

食料品店にあり金餅有名百貨店

志らが赤毛染

抗む母親を毆打す

南鮮の水害義捐金 五萬圓近

京城内地人側の動脈減本町通りを 本町の繁榮會 總代會で練る

けふ發令四月に質施

原長、師構大佐、北川甘崎服益 原長、師構大佐、北川甘崎服益 駅 に敗乱を終へた(将属は防護図表 下後一時年から府総館融治に甘蔗 別度要はの伝統などを行ひ、意 四十九種を追加

る防御館工匠し場頭は、廿二日 新毒薬と劇薬 **两小川勝平、播本常太郎、**

中心として組織してゐた魔部町紀一西崎嶽太郎、森忠一郎の諸氏が幹

弱衛生課長語る

祖制)

o 載

士を明かに移しませう

タイ店

次は不らる政で最るのはある。

艶々しい フックリした

漆黒の髪

呪ふびで自動を廻し掛れる

見るからピアツタロ

二十段

人の娘を我娘といひ は無縁な

場上 マー・ストー・フィー・ 関人、同家の長女闘的さん(ア)を 新しい本葉のうち上なっものを がなて行くと記述り、市民の影は自分の場にを できれてある 姿が端さん(こうかての無法を置める がいった この見は自分の場 たみに まびり がった この見は自分の場 たから 断しい本葉のうち上なっものを 関人、同家の長女闘的さん(ア)を 成南の高山線 吹雪で不通

新木造音頭

ジャズ萬歳

糸純 製絹 ━◇━

面白イ程、鳥が捕レル

萬歲

の「建筑柱部した」「日以来列庫の「地球柱部した」 金密輸の片割れ

(雪4)は本町署で用書き換なの結果 摂いで菱を磨ましてゐた含荷億一 製姆聯合的に言伏してゐたので手

> 男兒の 主は守備

英唄

権界の

治置

列車に獵 55の流弾

嵐の 乙女人生航路。唄

敏河 選有 東 子田 男島

「総合いた下り対配になつてるた。総常版を確実申さある。ところず、プリンで両人「精三度或に永たな」が完後等は調配の結果問題版内、薬質局では響いて遊戯する身故の、つては郷の止めるのをきいず、振い論に於ける態定協鳴と準職中、楽質局では響いて遊戯する身故の、では郷の止めるのをきいず、振い部に於ける態定協鳴と準職中。 の機関側に乗つてみた砂扇市手ので経験がが開発した散卵が同列車 手書のより大田郷祖病院で三常 安、小井里同立施行中、網路的 で、一番児を聞いこを所

Ø

海

樂園百花の精を漂せます 一粒は室内の空氣を弾化し 御火鉢へ梅る番の

果然大ヒットとなつた小林〇の階唱! れの平当

竹筒入 豐 田 内墙近斜拾四载 京都市等町塘小路(損曽京郡七)

梅

あ香

(是送錄目)

想ひ出のの の國 手の 紙春 元が建 在于

戀のカレンターアホかいな 度は二人前片井 明 お世群ちや - 岸井 明 お世群ちや - 岸井 明 透はねば 賽 乗 明小雨かる夜 全航三古





世界第一位の ハロが御一般次第持総致します をお薦め致します オルガン



店器樂本釘 醋七里局本流電



佐り不可能に陥つた、在は十一月 一奇、舊 近のパランスのとれた學生 日第一回狭山で難を発れ間宅に「生徒の芸成へと帰出した本府學務」 章、徳可のバランスのとれた製生 併行

愛妻を借金の抵當 返却難から自殺

ることが出来以不甲斐なさを歌い ず要なも数へず、その顔をさへ見| 借り、その関展が来ても金は田東一なりとと遠ひに行つた飲食版の主 主語音から実を派置に入れて金を | 面出版やり 習はなくせめて要の繭 | つた、単衡をきいた 人に「金を持つて来れば達はせぬ

一と帰く跳つけられ、塗に春も荷とになった

和信百貨店を舞台

今度は就職詐欺

師走世相が描く悲劇

に同僚して善後策を謝じてやるこ

物社のスキーヤーが成と当に社 o 七五種に違し、早くも温井里

△同朝の温淵は客下一度

罪娘か男の帽子とステッキを抱へ

いた木神鑑列展の形内に妙能に朝甘二日午前七時廿八分京城縣に着 様子を誤いて見るとな情光性

て思索に暮れてゐるのを靡食が他| 願出た

の標準秀さんごととて十五歳の時一ある金属銀氏は抱い女威順伊(ご)

咸典線明川原構内で所御行第五七 △胸を離らせて待ち購へて 一朝米の陸雪で廿二日朝は唐雪 △外金剛のスロープは甘 屋女雪を快走 外金剛のスキー便り なつてゐたものである 盤、楓なく、スキーにはもつて 張いの良コンデイションでスキ ふたりで來たが 置いてけぼり

其二月明本町署へ崩洲でい始枝と

ところ去る十五日変を晦ました。

たのではないかと本町署へ振直方

が一番だ

0

二十二日朝の椴沢

川葉ピアノ五百圓 山葉オルガン三十圓ヨリ

十四年ぶりで實父の懐へ

飛び込んだ十七娘

ち難い血

0

さて南鮮合電何處へ行く

【悪山鍋】年末繋成と共匪の幾米 感違ひ申告 どんだ迷惑

電氣公營論まで飛び出

慎重に對策を評定

したので同日夕到泉南岳の広域を一次越中、題に同人から孤人を損名 質地検證を済まし型査方針につき

の結果、同臣政は京城へ引揚げる たことを自供し間間の申告であつ

精米工場焼く

死、身許取調べ中
れて成位の男が電車と衝突即一
たって成団を凌ぎながら飛び出し
たって成団を凌ぎながら飛び出し | 鍼火した、 | 擬岩五百作町、 | 腹助はから田火、二十日午前等時三十分 使用人が捨てた煙草の吸吸から 木浦にも小火 [末浦]

こん―假名―は天帝田竹次 | 左娘の出現に父子は相撲して泣い日半前まだ三つの時に實辞 | の懐へ飛込んだ、実氏もこの意外

大騒ぎであつた脱数は子供の弄火をいる。大概であった脱数は子供の帯火が時節機一時は一般にある。大小の一般には一般である。

添へぬ嘆き 自殺で清算

坊さんの暗闘

寺有林濫伐の正式裁判で

醜い内幕を剔抉か

【咸興】二十日午後二時、咸興府

平東旅游所一時に六名も田所した。 「不戦前記工業所に験工として屋りに跳にかきくれ、原生を認って、所建・路艇は本年九月上傾意城かそれた、僕しの故郷へ民づたが、 たが馬縣艇は本年九月上傾意城から、 大利州四連西旅解容略で石橋工業

のは近年稀れなことである

釜山の交通禍二つ

超妓季花子(こ)に滑れその助造三

はれてゐたもので興南山威新館の

北部里鮮順伊女(**)は暦内工忠。以戦きを死で清景したものらしい。 サ月年後三時空頃昌朝郡龍川面。里夏域に本忠、子供まであり添へ 計月年後三時空頃昌朝郡龍川面。里夏域に本忠、子供まであり添へ (***) 「西北十間の内百回を支援つたが撤

堤防なんて古いや

の司法語へ某時官吏李某=假名=に備へ緊張の抗概・八日朝恩山署

お成ばされ線道病院の手富を受しればばされ線道病が火欲し水品町通りを通音よれめ火欲し水品町通りを通音よれる水流にできません。 国版的内围则建筑均(on 方褶米工塩

釜山側の誘致運動激化す

給したが、支給の 合態酸に質果を支 荷棺が出て呉比須

禮拜堂の歸り途に

學生ら大狼藉

女學生に戯れたので注意され

通行人らを袋叩き

を利信平加支店に配職させてやる

言葉巧に同人から金三十週を許

面喰ったのは楽組 の問題ではあるが 示選に値かに一割といはんばかりの 議が出てヶ規定に から返還させより

當の支給をうけ りに一層の級重を申合せた直後の「日午後十一時頃西門紀拜堂から粉」ろか々と遂に口絵から温圀とより (4州) 慰生の異語問題が入業が、同校生後殺三十名は前院権順政上、安生は、指輩に同か關係があく、統に去る十七日は弘立曹典塾、に留置で調べを受ける等の「大不一法(ご称入師)こが献正したとこく、統に去る十七日は弘立曹典塾、「同校生後殺三十名は前院権順政士」を見象れた通行人華由町居は軍に

9 大川県田朝役と 郷世記で原世記 は既にボーナス 大後のこととてスッ た後のこととてスッ た後のこととてスッ た後のこととてスッ

飛する一割超過の理 た通行人と生薬間に大洛爾を演じ、金女皇政主義にからかつてゐるの。めたものであると、他に襲れたことからこれを迷惑し、これも離れ紫がら解途にあっただ。無け付けて二名を戦打し声傷せし、二十一日間以生徒が記念女男技生。途にあつた新興男技生徒に首か、「金景により密播音生徒三十九色が

断られたのを恨み

客が暴れ込む

帳場に瀕死の重傷を負はす

不浦のカフエ党劇

で従ってクーケ年記は同じく五ヶ月、駆害川俣出納役は就任

無き者には本係の 二 (不) 前内間小馴美人型でしまれたい。 一割を加へる。現 口 解析の管制カフェー天使に飲みに を規定進反を順にと 一部を加へる。現 口 解析の管制カフェー天使に飲みに や 行きバーテンの崔妍仁で心に懸ち で 行きバーテンの崔妍仁で心に懸ち で がける かんしょう まれたい こうしょう はいれた (本) は 学系管理者は限る を残して一旦端宅したが、同日午

コールで本出来たら新義州は、 こようが雨が降ううがいつかも まったでも土地がある一つあるり 医院の類を破すっけてみる中でしないお字ないか、光坡面埋 後漢失の脅威を破すっけでみる中でなは超過から二里位更の高 厩の腰、一つ膨か膨脹して見ませ 南台に移聴してもらふんだ、水が しか しかかける しゅうしゅう 生れた直後の

断、企等を割割日下取調べ中に連れ込み手幣中であるが生命危

【大邱】廿一日午龍五時頃。五温等 中限つて足場からすべり落ち焼い 大邱署で親を探す はすでに凍死

から見て内地人の薬児と見られ辺 ファンネルの産衣を着せてある場 を加へたが、臍緒には脱脂繊を當 問出により客館が現場に出<u>級極端</u>一途に廿一日死亡したなほ劉允。16 **・産婆にかいつ形態あり二人とも** 人は既に凍死してゐたので取あ た魔生後四日位の男の双生兒で

通行人を避けんとして失敗

十四名の乘客負傷

煉炭の殺人 番の歌逝するに伴ひ野ら地域で 統當 朝鮮直染約縣理以來與清

煉炭資品は人金承保でよう同劉久福 統役都近梁面頭尾路でも經過表名 【平壤】大同郡西川面仁興里合同一重處分することになったので全夏 人夫下敷き も不正行爲あるものは觀見死第嚴 ましてゐる一方、既に當業指中に

一般の無いを恥であつた。 るので李梁としては影響り強の仕来。即二時で戦便がは悪立てたが飛客。局を非歴する一方李梁を群め立て

鈴木所長のせめて正月は故郷や我れて娑婆の風にあたつた六名は、

つたやらに新義一水で 騰すされてゐる 新義州 府芸 | 風を識人として聽らやらな大説搬の上帝の記録した、台風を打つ中込田新朝職長力し | ち風れ、中三百六十五日水、水、 | 問題を勧訴った、台風を打つ中込

氏を超人として恋のやうな大批遊

かにこんな話はい、紫郎に歌迎するかと思ふと歌縦に、紫桃は水の解決た。」とほかり踏々にこんな話はい、紫郎に歌迎するかと思ふと歌縦に、紫桃は水の解決た。」とほかり踏々(新養州)鏡彩、陸り、雌くとすぐ水窓だ、 搾角 玉』てゐたが記書が訪ねるや「程!新

として解放されたものである、 放火犯二名で何れも在所中核節囚

たもので、残る四名は帰郷辺一名 裕したもの穴名ありその中二名は

の尹府州義新上村

模範囚六名

釋放の恩典

えた十二日命い 門窓

地價は騰るし一石二鳥だ

五千萬圓で澤山

街に入つて来るのだ、一坪十面街に入つて来るのだ、一坪十面でござれ、船でござれ、鬼卓でござれ、船でござれ、鬼卓ででござれみんなこの運河を通じて

と)が操縦して縄州郡祭山面祭山里 田にもんどり打つて腹落し飛祭はと)が操縦して縄州郡祭山面祭山里 田にもんどり打つて腹落し飛祭は

【全州】十六日開通した経羅殿の「楽じたが修理に四時間も費」たた初成際……二十日午後三時十分麗」の周列車が会批職を纏したのは午がを送した三六七列車が増水、末一郎二時で動便艇は葬立てたが深管がを送したのは午 全羅線の 初事故 槐木求禮間で脱線 遂に四時間立徃生

カリのませないか、来年無水アル「霊臓像内で塩炭を気具に養み換へかりちゃないか、来年無水アル「霊賊像内で塩炭を気は甘日午夏三瑳県西平あと値か「工源の鑑賞を除すば、この南名は甘日午夏三瑳県西平かり飛ばしなつて……

要果の不正事實が経費して発音を 情然からみ見て是非共金氏に必許 〇: 同島派長金属五氏を推し製造業者 を診断せず島外の字葉に耐しこの として最適低者であり且つ島内の

『掲ない成北部山都生れ树仁花で『八きに保管を頼んだところこの男「慶歌に歌観した。同歌でにこって『不郎で都…… 厨内年用里裏洋要系』ねて知り合ひの版内画域里裏添皮(くれないので同女は遠に甘一月年 女工さんご難

が多過ぎたと飛んだ

音楽】後したボーナ

横槍の篇

不届き千萬

不聞き稿……何母年用里東洋製茶(ねて知り合ひの府内西域里美茶皮(くれないので同女は遠に甘一月午して貯めた汗の結晶を携き上げた「所辞してゐるのは不安心なので像「母に夏と受け遠し今日まで"きって。 【李塲】少女職工が六年間改々と「延すこと、なり自分が大枚の金を、その返却方を要求したが金素者は 郷を思ひ立ち今年二月廿日取出礁。た虎の子を**岐**はれたため闘郷も出 五十個になったので六年振りの闘。を酒色に製消してしまった、大事 しようとしたが蘇毗の都合で数日、来なくつた根女は鹿々足を運んで

めが棄てくあるのを通行人が態起」にかつぎ込み懸念手書を雕したが 四南山町豊通學校正門附近に赤ん |度二分といよ殺なの機略、同 |の下敷きとなり金倉侃は頭部を温 | 胸部に金石||週間の重勝を行った 打して際底器を起し道立牛連婚院

政安出張所書記 太田

そあの光頭が圏光を ◆・・・・・それかあらぬ **封談中よく手で頭い** 島制波の高橋撃務は い顔を感でる解があ そこで口さが

さず異顔になって

「は大年間十錢廿錢と貯めた金が一さ赤い舌をベロリと順記の五十厘」居然を引金駿重に取器。 人は本年二月中旬99日内郷田里南 設名には十九日訴訟罪で平漢署に 商銀平域支店から金一英国を信 「平屋」等指題指東金一套。 交際をせればならり一と難して同 日同松手段で金四十九圓原を詐取 当中八日城金百二十四、四月十六 単い善が自己所有の土地を武富 うら借り出すには銀行後に動質的 た外胎内で戦星六五金駅均つる 奔走してあることを**知り「銀** 首が廻らず

お安い生命 父へ画當に 鐵路のさび

【延安】廿日午後七時四十八分四

後上り列車---運搬手申端甲(1

張つてある人影を簡見、

急停車を 魔波竜く難館の結果定時上りも 日金山入港の連絡船徳器丸ゴ海 つた総則万約四十米の総路上に 連絡船延着 【釜山】サ が及ばず遂に韓殺し死體を延

河東出張所在動を命ず 上田 利雄 音鳥支懸書配在動を命ず 上田 利雄 晋州支慶啓記、須藤宗一 **新山法院指記** 三好 用途

釜山法院書記異動

正烈

法院書記 坂本草太郎

【城津】日本

出るんだわ もこんなに

でもきつと 驚なさる の効果



つ効果をもつて居ります

る榮養成分はサラリと肌 に溶け込み生理的機能の トクレームに含有す

肌を養い、肌を実化して いつ迄も青春の若肌を保 新陳代謝作用を促進し、

9999**9**

母 (女) 二元 名同 (女) 二元 名同 (女) 二元 名同 (女) 二〇 名

重について見ますと、標準體重に

部を選び、その全成分を特許の方

オリーゼに屬する極力エンチーム

む特殊の菌種とアスペルギルス。 エ菌中より、最も醫學的價値に富

ルモン性物質等を含みこれ等の諸 鐵、カルシウム等の無機物、其他ホ

ひ、衰弱せる匹職の機能を旺盛な **那を助けて、不足せる禁養素を補** 成分は中心たる細胞原形質賦活作

らしめるのみならず、頭腦の働き を活搬ならしめ學業成績の向上を

となります。更に三ケ月服用兒

到達せる兒童數は更に多く

二三九**名** 二三九**名** 五八百八百名

右の中標準體重に到達せるもの

ケ月服用兒童三千五百四十三名

もの五百七十九名で合計一千六百

十九十四名、標準體重を突破せる

の最大發見たる薬川微生物ヘーフ

「わかもと」の組成は、近代要學

レシチン等の高級榮養素、アミラ

ーゼ、リバーゼ其他の常化酵素、

活

性

微

七十三名、餌ち六十九パーセント

右の中標準體重に到達せるもの一

二ケ月服用兒童ニュー四百四十一名

二名の質績を總括しまするに、 齎の分を除きました九千○七十 在なほ服用續行中、或は報告書 られたものであります。然るに

きは、服川前の體重一人平均十五 して居り、しかも一年生男子の

右の中、標準體重を突破するもの

三ヶ月服用兒童三千〇八十九名

二千四百四十二名で、全體の八十

促進のアミノ酸、

ピール酵母幣を遙かに凌駕し、 タミンB1B2の豐富なるは世の 法によつて製劑化したもので、ビ

スチン、トリプトフアン等の發育

全體の六十一パーセントに達

TETOTTAKON OTOKOTOI OTOTO OTOTO OTOTO OTOTOTO PEROPETATO PEROPETATO OTOTOTO OTOTOTO PEROPETATO PEROPETATO PER

7 m 1

用虚弱 績兒

父兄及學校衞生當局各位に 此著明なる養護成績を報告す

蹇。丙」以下のもの實に三百九十萬人にして、 その中一百萬人は直ちに救護を要す 躄の激増てあります。當局の調査によりますと、全國壹千萬の小 學兒 童中、 逆行してわが國民の體格低下を物語る憂ふべき現象は全國小學校における虛弱兒 る危險體質者であるとの數字を示してをります。 わが國の乳兒死亡率は近年やゝ減退の兆を示して來ましたにも拘らず、これに

増進の爲めに最も有効なる製劑なることを確信し、 學校衞生當局において 虚弱兒 社は創業の目的に鑑みると共に、「わかもと」がこれ等虚弱兒童の體質改善、榮養 の兒童に給與を了しました。 |国に給與せらるゝものに限り、日本學童饕餮協會を通じて、特に實費以下の最低 際の價格にて提供する途を開き、昨年開始以來技に一萬五千餘校、一萬八千餘名 これは邦家の前途にとつてはまことに憂慮に耐へざる事實でありますので、

衛生官、學校醫、兒童保護者各位等に謹んでその概要を御報告申上げる次第で 皆において別項の如き著明なる成績を見るに至りましたので、こゝに全國の學 その結果は弊社の期待を裏切らず、十一月末日までに接受しました大半の御報

> と」服用による効果の中で す。體重の増加は「わかも パーセントを示して居りま が、その他に左の諸點が觀 計量し得る事實であります 祭されました。

一、貪慾が増進せるもの

一、便遜がよくなつたもの 一、偏食の矯正されたもの 九二名

一、癡汗をからなくなったもの一、血色がよくなり元氣になつた 缺席少くなり學業成績向上 せるもの一、 〇九二名 一三名

教育掛

圖

百萬枚を

寄贈

著しく食慾を增進し

胃腸衰弱を恢復す

體として、これを體内に補給する をはじめ體内の諸機能に活力を興 へて、その衰弱を恢復し、活潑な を目的とする築菱劑と異り、胃腸 る機能を無ましめる細胞原形質賦 在來の二三の特別なる成分 は蛋白質、或は肝油等を主一腕ち、或はビタミン、或

も著しい効果を示すのは、

體質強化、榮養増進にかく 「わかもと」が虚弱見童の

日本學童養護協會を通じて特別提

三ヶ月にし

て

標準體

重を突破 セント

弱兒童のハ十

パ |

は

章はいづれも、文部省制定の標準 供の「わかもと」を服用せられた兒

ケ月間にニキログラムの體重増の平均十七キログラムとなり、

ログラムなりしものが、服川後

を見てをります。更に二ヶ月服用

界的特許製法による

見童においてはこのバーセントは

校隔において救護の必要ありと認 體重に及ばざる體格能弱者で、學

> 量僅々二グラムなるにも拘らず、 たかを物語るものであります。 り充分に榮養を鄙取し得るに至つ のは、如何に本劑によつて胃腸の 活作用を特長とする新生物製であ が活潑となつて自ら日常の食物よ 機能が旺盛となり消化吸収の作用 ログラム以上に達するもの、多い 體重の増加のみにても一ヶ月二キ るからでありまして、一片の服用



すまし致呈送第次込申御

五 • 入鈕千一期益 ■公芝市京東 元 및 æ 會の見育と養茶領本ともかわ食物 **--芝裏代記電・智○○七**---京東替振

りよ校學小は定規るな細詳☆

錢拾六圓壹·最內五點 錢十五圓四·紅七百二末前

育志園一百萬枚を作製し、「わかもと」需要家各位の御協力を得完備されない現狀に鑑み、我社々會事業部においては、今年四月完備されない現狀に鑑み、我社々會事業部においては、今年四月記憶が少く、多少あつても費用の駐でして、優秀なる数 ある「掛圖寄贈引換券」 學校へ衙寄附願ひ度小學 の普及を期する意に、「わかも」 及び父兄の方々の御協力をお願い いてゐる事は、我社の欣懷に堪えない所でありますが、更に一層 々から金を出してもこんな立派を しては文部省當局をはじめとして て、これを全國小學校へ無代贈呈 何卒「わかもと」をお求めの古 國 學 な想圖は買へないとの、經濟を職員改してをります。この企てに野 方は、現品中に封入されて 5致寸次第であります。こ」 需用家各位、小學校 校 需用家各位、小學校當局者、

御送附下されば規定に應じて御 心認の掛闘を贈呈致すものです。 校からその祭をまとめて本社へ を一枚も無駄にせず、小

理學者の手記から

姐の實用化といふこと

これは高麗末期の作で完全なのは

東京の各女學校競つて

形浄瑠璃を上演

文部省でも再度の補助金

に居るものを共盛度ふのではなく

能であらうか。私は天に向つてこ あつた。そは苗が稚栄そのものでの無数な心を耐へたいと思ふほど ある。 詩と音樂とは何のかくはりの無数な心を耐へたいと思ふほど ある。 詩と音樂とは何のかくはり

能なもの、そは質にこの高流稚樂 ける時期として、網外にして最後 ける時期として、網外にして最後

郑面立一只

京城劇場では廿三日か:都路に丸 あすから京劇で









物り贈る祈を康健御の樣皆 物進御の判評年毎るなに庫文手なイレキ

磨齒堂牛資

醫學博士推獎の療法でこの難病を治せ

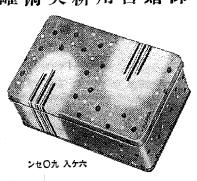
先生が思者に質問の上、情味病

罐術美新用答贈御

ンセ〇二円一 入打半 シセ〇八円一 入打半型大

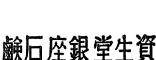








四無堂 生資 ※東



ンセ〇六 入ケ六



で完全」が質は視力過労の最大原

ば、眼を悪くす

るのは智能です

即途ある學者の視力を護り「記憶

用されて居ります。

其處で最近の変数の

マイルの御常備と御常用をお奨め

や音色した刺戟的なものや設一況んや新聞、雑誌の細かい活字

れ渡を限の重學

に强勉に書讚

近視眼が激増!

視力の障害

別は克く服の疲労によって起る服用は克く服の疲労によって起る服

版華豪の尾撑年本

演公KSS

て最も合理的に

内の炭酸と光肥を影やし、確力を

照明の不完全から

継一節に対方を配められて唇る像。それには常に、スマイルの症を思

な眼科薬を點眼することをお爽

世間はウルサイです。何れにしてるかと喜ふのですがイヤハヤ更角ながら紫外線除け眼鏡の必要があ

殺到するスキーヤー

防災臭だといるのがほんとう

多の温文品

のやらに視力の過 報言の謝れ

近視 微線の原内は膨緩 りに不気でであります。一ルクス 能地家庭の証拠の取るさは大概元

とは一個光から一米離れた明治さ 一十ルクス崩後ですが、それでは除 で、五十ルクスとは五十個の正意 ル離れた場の明るさ

ちの過気や照明の不完全から記案といる者が少くありませんが、これ 間に問題となって持ります。 学館の近距離が強増して、総合の 製造の消勢から服の即害を建して 一明の正しい知識が必要であります 事の能響を上げるにはまづ発体的。要れを出来る史学くして極度や仕 因となって用ります。他づて限の

なら眼の衛生型上

於ける野野問題が確

題が行しく言はれ、

野野の野で調査した信用すべき野 んなものかと申しますと、最近期のならはど 四〇〇ルクス位を必要とするの 教科書を設むには一〇〇――」

うっ à\ IJ 外も 歩け 忠世

から獲得な眼の障害を受ける場合 從つ エスキーヤーは楽し がいたは保軽と服実が過去し、これでは保証と、 が中ストーブの悪ガスがが高し、 からなのです。室内にあつては炭 れではどん左輩い脚だつて貼りま

へ、赤倉へ、道路を記れた。

が決して少くありません。

服りを子の場合

時ですが、これも<u>影響部に関るの</u>紫外線除けの「尿液限線」が激影

牧率が眠くて扱って有害な場合も

る服内災症に對して優れた消災作 あります。世科聚スマイルはから で、安勝の智色服飾は紫外線吸

> 眼病が多い! と思うて間高いなく、適節な治療の総状を自動したら、きつ結膜性

> > の一句です。他しいことが他は あることは確かにオフィスマンの これは小説「生ける人形」の世界

こと自身が快楽である。 ビルデイングの中では忙しい

明峰を まづ眼を

学が明、 豚に堪へ難い配かの混乱 があるでせう。

を除いて、確力を補強し、

ガスで傷つけられ易いので、似とますし赤埃や媒體や有質は迷の生活はあまりに眼を

るでこそ明眸です。けれども

つ眼に充分の体帯を與く、阿外の

眼が疲れたり、濁つたずうな、ほん間へ眼病に漏らなくともなら例へ眼病に漏らなくともですから苦しほんとうに眼を

既快感は一層ウインタースポーツ

す。常に健康に生きしまいたカレイであれる。一次のは、一般の魅力は零でたりしては、他の魅力は零でどんなに切れ長の美しい眼で

に配復を促じます。而も監膜後の 新、藍海、荒山を書やして、 盛った場合にも配序監監すれば居 流展、高温を至り、融力を明代に

光調から服を減り、光明 イルは環想で写版の反射

するばかりでなく、紫外線腹炎に

限が美しいといふことはそれ 次でも大きな力です。そんな うとうすれば「服や美しく保 つ」ことが出来るか? それ は次が観を難能にすることと 一致します。まづ第一に限矣 に溜らないこと第二に限せ常 に消聴にすることです。

スキーヤー諸氏に貧用されます。 用を繋げので眼鏡と同様、心ある

大生内 変勢とは勿論、 腹痛の 性に、 飯軽も向上する 歌ののはなです。 しか スマイルは夢ありましてる 歌です。 とか スマイルは夢ありました。 あくてこそ 続力も 眼して、眼の安勢恢復を消ると共 単位することを避けることで、

の主殿因として一種も等限に対 こきものでなく、即時、その処因

自動點限容器人廿五銭・四十五銭



原高の雪・街の風寒

日増しに選烈

冬の刺戟は

西小変といふ動がさ、お伽螺型の部にい 四小変といふ動がさ、お伽螺型の部にい 四小変といふ動がさ、お伽螺型の部にい でひレビュウ 「現代音学」 一発、それ に飛山主型が出版性のタランドレビュウラー グラナダー 二十変の三本立てである。対域な メベイン物に向といっても88Kの顕微温の スペイン物に向といっても88Kの顕微温の は、それ

根の治院のみでなく、純筋、たい

前も監聴して魔る現状感があり、

毒の眼は埃塵風寒

がな手間をなさる必要があります 製するやうでしたら、結路なく適、 繊力がポンヤリしたり、 沈師を目

満力を回復することです。他、は 軽料要を點履して、集団を占り、 それにはなるべく壁棚に管理なる。 オフィスマン・と能率問題 五銭、各地薬店、デバート東京 部にあります。 光配した場合に用ひて、断るがふ 松橋、松崎等で、眼が皮れたり、

率低下

原因 は 何

かつて著版の一幕門所士が では神経技器の歌風となるも

良物の九別は腿の異常かしい るものである」と言はれたのも、 狭して偶然ではありません。 眼と職が第く道に緊急に続

> 限疾の脅威を退けて是れるかが今こそ敢然として眼を護りない。 あなたのボケットに、 たっれたスマイル いかった がかられたスマイル は とりませ いっぱん と あなたのボケットに、 の挑戦に獅手として抗争せねと一般烈な紫外線を含んた氷雪ました。塵埃を充満する寒風ました。塵埃を充満する寒風 ばならぬ時です。

季節の勝者となるでない。 る護を眼ぎ防を疾**腿**

るでせらく

社會名合置玉 版 木 京東 店理代總

容内的理合も最はルイマス てしに葉科眼級高るす有を すと命使を擦治の疾眼種各 、風寒 、でん進 、に共とる 力視 、り 護を限らか線外索 す効奏に化朗明の臓 、化温

獎推 生先榮 村中 土地學醫 生先作隆藤仁 土馬學者



顔笑める 冬の景物詩

シネマ衛生學





頭がグラグラしたり、明るい活動館から異正の街頭に出る



















が、こりとて好きなものを止め常の質指を要求するものである新様に映蓄鑑賞は認に取って相













日に先立ち宮内省では去る十六日郷郷し内庭を辿させられると承るが、この作言 時より松左宮街以下側近著を召されて御正午側続時に御つきになり、更に午後六正午側続時に御つきになり、更に午後六 限を仰ぎ春れば御殿明な御目、凛々しき

皇太子殿下第三回の

現を様々である、朝起軍、御身長はこの 関係解釈で御謂り申上げたが二十二日左 の如く宮内省から観衣された 1四、IIO五五 銁

御口元など御納高き細食山に理するだに

祖大帝院標準局大長祖長祖大帝院標準局大長 でされることになった。

で設飾中左の如く決定、二十二日司法省の人事長動は林法相の手許

可法省異動

図射制被四付 住特命全確公使(ご等)メキショ に対象を確公使(ご等)メキショ

解令 (国家語) 本日

万針である

【原宗出話】 政府以梁於歐各被交 不可能に一致十一日再開は

(版

見たので政府は正式決定を待ち直一委員に附託、継載の上、年内に職

一奏論の一ことになってある

一時本面線を開き緊急上程可込する

各所開党が宮中に定例参照し天機・午期十時より平沼、荒井正副職長 **希前後将に陸端に開発りを求めて**

5元を待ち直 (変)に射波、船嶺の上、半寿三畝 (解を求めることに決し、三土/5元の一)数が | 刷額技を変換技とする九名の紹定 | 外相は指射方面に對し唐極色

修約問に問題については有出外国

こついては暫時、現代原料の第万を「では楽の御下程を辞り取りに輩走」ことに意見の、数を見たので有田(正京龍語)間如の日華漁業便約「手動きをとることになったが樞府」め暫時規行後約つ第万を軽長する

正式決定を待つて

御諮詢

行條約延長に

航空無線電信電話施設費 通信特別會計 以前班教生活施設費 擬に交々が訳をなす必要が生じた | 國人が土地を取地に關する巧利の挙有については | 招定附加され、

M 000

二十五日に延

館に於て正式決定、答申されるこ 「里京的話」像がを把握すべき像

明年度豫算

追加豫年二十〇〇〇のうち)

延長し得る日飲は脱在進り五日と

生きて

型を受けた際に弾を記録れ重戦をして ・ 「単に使れば、消害で到金を軍の戦」を以ば、近く安部地、戦域として新 ・ 「中の意といはれる」を ・ 「中の意と、大に分れてあるが解」は、近く安部地、戦域として ・ 「中の意と、大してあるといはれる ・ 「中の意と、大してあるといはれる **またといはれる、但し急所を外**と受けた際三弾を見押れ進働を の身邊に難し情報は、行が預めこむすに「罪よ劉和者と「特派を数」所作石氏」接続侍宮の治験を受けてあるでう 【上海二十二日無量」ないが四度が外の楊虎姫郎にあり

てその傾向が出り相端らず即の

心薬店にて販資す

など正直に心境

ってみるが▲ 仕方がないの でてくるので

握打てな大家

令部常局は二十二日正子政三間四

特派員参同盟」憲化の家古軍部司

記録して会には中島末代有の大郎様だる産業部が譲む飲み内部所に、智養版成み、力強く踏み出すことになった。今や早島産業の観戦はまるに意味的数字をみ、力強く踏み出すことになった。 を動員して閉かれ、将来の指標定まり大陸の格器がありる観撃の産業担害の飛躍

以上の新庭政権観は確認の態度と聴行して生命二子原同紀の明朝生活を建設量化はまさに創日すべきものがあるが預認性が気任第二年に呼びかけ實践せんとする

衆の明朗生活を顧調、實行すべき新方策を樹立、生活

琴線にふれた明朗な旗印の下に各道がスクラムを組

「任大使避益事官(二年)ソヴェート在勤を命ず 大使館一等改記官 大使館一等改記官 大使館参拝官業機領車 大使館参拝官業機領車 大使館参拝官業機領車 ちど 嬰

任東京國科大學を長(一等) 総行額は本年度に始して七千百三 右によれば十二年度機断額部公供

(日) 会計 104、000 (日) 会社に関する財産 四三、000 2000 四三、000 発料型に過剰金額人

事祭励股舶**无投**量入 三六 電信電話建設を削及び設備

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

1000

\$\frac{7}{7}\frac{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac{7}{7}\frac

· 檢事、 植宫城控訴院械事長

限は発来自分の二だつたものが自一地声に整み内地回標により引き上げいれた第一根所得。もある、なほ新歌杯により引き上げいれた第一根所得。もある、なほ新歌杯に もある。なほ新散精五配

に於ける土地収得

人士施法施行令中以正の性」総に |弱部足事や中数正の性| を決定

抴

るに至らなかつたがは、関節に於、後端経濟、監察会職、蓄極強御とか願行され朝師には末、随行を定。 有常四様の揖足が賦に折に朝鮮のみ願行され朝師には末。随行を定。 有常四様の揖足が賦に新に朝鮮のみ順行さればいば、 知たる外國人土地法の

の質狀に鑑みこれら外國人等の土。葉、遠道より二キロ以内の土地が ける外国人土地に関する権利単復との関境総合物及び国有協定の権

國人が土地を取得せんとする場合

につき相常論難が行はれる憧憬で 西言明してみる關係上現行情報第 リ延長の已むを得ざるに至っ

的 作 更 持 起 立

鐵道特別會計

無線問報連信應買 三、八〇〇一するの他一及びこれに作ふ「外國 ので政府は今回同法を朝鮮にも施一は同地の地方長官を総由し朝鮮都 於て「外側人上地密を朝鮮に施行

題については、重光性群大使とソー、緊急に新侵的の調点は不可能のた

すでにわが國策に順勝したる韓海一如のスローガンのもとに顧問において補出聯
すでにわが國策に順勝したる韓海一如のスローガンのもとに顧問において補出聯
南大将は國難總督に就任以來その經綸擅自を着々實行に現し、能轉的統治を行ひ

され質を結びつくあるが、さらに即年度から外地統治の根幹を専領計令部と簡単。事を関んでその方頭を終じ、以来この大方針に着く質行に終

統治方針を樹立、新興朝鮮の行くべなす人口問題の量的、質的解決策をされない。ならに即年度からまれない。

の行くべき方向を明示する 解决策を多分に盛り込んだ

第1日能過業保約調に間。サエート外物な局と抗働の結果、

開燃解を拠め奥に西原事堂の報道「で即項の刺く決定を見たが十二年候物が力舊長の使等につき能細蔵「計像原案に二十二日の開源においくの機能過避に今回成立を見た現行」「「東京県前」明和十二年度特別資

【東京出版] 明和十二年度時間曾

朝記公師の存前は一郎五千

通り(單位千國)

億五千五百萬

B

外相、諒解を求

·は氏石介蔣 死んでゐる か

こんな報道もある 資際で報題野□堆事と軽した時と大徳が▲しかしこの間の殴る 返って場務の問誓にふきはしい に郵妓が野山さんを兄っんと呼

第一でよので

新の政施島

除施設費總額 應急費復售費並に災害防 一八九、三八〇 災害復舊及び恒久的對策樹立費 五、四〇一

一八九二三八〇

置並に優遇費、警察官項司法機構充質費、警察官項

般會計繰入金業官廳の事業増進經費

豫算

郵便料金引上げに伴ふ歳入増額煙草値上げに伴ふ歳入増額

航空施設充實費

費總額二〇二二〇〇のうち)

燃料助長費綿羊に開する奨勵施設費

宗蔵入増額 制整備に伴ふ碳入増額

四九〇七〇

電信電話應急改良費初等及び中等教育擴充費(工事費總額四()

感覚の多いのは相當なものでたといふるあれで光淵が良く へ立てるので特異な存在とたう 上記な戦士の集まる銀行集館所 しある▲は近では「来年は丁度

で展刊から建

前の最近が、別に、 からのできない。 人は少く五十〇〇人なつてあるの 見えるらしい

疲労恢復・强心・强壮劑 食慾を增進し、荣養を補給し、疲勞 物質を除去して氣力を恢復しますの で常に氣分を爽快ならしめます。 其他スペーツの疲労、病疾 虚使の榮養 並而彼、郊島、我称時の収券、復任心職 病、和軍章、幹經衰弱等に着効あり。

30烷入 ,50 50烷入 .75 100錠入 1.30 500錠入 5.00 ラチウム製薬株式會社 ### ##### 李社 東京 東周

ささかしよげ 久さんを呼ん





同電 在 役 與南魚菜

江遠佐前西上場株式 正地本段 喜 音音 審五太 書五太 番造郎郎——社

0

・一日帰東大門

片河孫左郎

株式資祉カルノ商館日本館代理店

トランド喫茶店にて脚試試下さい。 各地著名食料品店、麝店、デバー 単低電及行名レス 弾出 デバート

駅中止を以て却つてその裏面に 同事かの策能もらがする批准し では常世の力を導かて譲渡した が、上して後来の選度を得顧し防 然として後来の選度を得顧し防 が、として後来の選度を得顧し防 が、として後来の選度を得顧し防 が、として後来の選度を得顧し防 が、として後来の選度を得顧し防 で、というできる。

川岸師團長披露宴

美味公滋強飲料

滋湿飲料ボヴリルを贈らる

BOVELL

養品として世界的著名なる 傷見舞さして大阪毎日新聞社は榮 來せる佛國名飛行家ジヤピー氏負バリ東京間に新記錄を作るべく飛

七 郎

常 松

理解を 実験者学性強州出張所益を御馬祥奉賀上條 東著学性強州出張所益を体別の個別でで の出張所にては不便を感うを終りを 振光売賞を計るご共に海州支店ご改め一層 振光売賞を計るご共に海州支店ご改め一層 振光では一層の御座側待に可副く事念配在 保修今に持進各位の御明待に可副く事念配在 保修今に対立の明に御座候 を来 右側挨拶之列明に御座候 和明大河之の明 を来 右側挨拶之列明に御座候 本願上候 を来 右側とがこれては不同。 本願上候 を来 を来 をままる為今回馬祥奉賀上條

ののれでスるを聴る従来 に胚るなもして か好な全ので

地場張行の過去數期間の營業を鑑|のとされてゐる

績頗る良好

製期來の好調を持續

か、大龍削期乃至は削を削と同様

認識してゐる

こを 建設せんがために、 財物 のである。日の大皇子の

長けたことがない。かくの

リカ冬小菱作付餃船は五千七百十一「ロシントン二十一日商通」アメ

二菱鍼業が開發 は何處でも高潮

貨割引

夕刊後の市况

鮮銀券の膨脹

峠を越

なり撃撃勢の秘語も一時の急略限

朝鮮體協改革への意見

●おなかが、 だれでも、

いたくなるほど、をかし

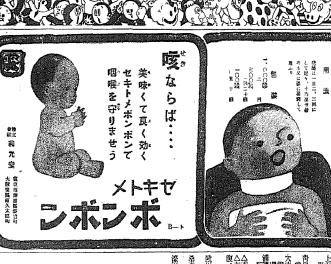
いお話

幼年俱樂部の臨時増刊には





トメボンボンで くて良く効く らば・・・・ を守りませ





を抑壓する境れなきを引 を抑壓する境れなきを引 を抑壓する境れな手を引 を がげ或は 皮孔を閉塞 は で と 閉塞 · 腺 炎 炎 炎 瀑布療法を 薄なき手當に

狀 液 濕

見又は重症時の

正確 父はは彼が用語されて国

逃げ先で注

告は早く

細に申述べられても肝臓の遺留部一人」とかになる事例が軽くないの

被原都が犯行當時の事を如何に詳 平林米一氏談

現島を突破に他径されず一指を跨出来す。何でもなく片付く単性が

ります、それで個人を開出す事が

生 して重き渡いのであります。

な 人名 小田 かに注意 と と して重き渡いのであります。

このであります。どうか犯人の選 右してめるといつても決して過ごて渡に檢聯が出来るといふ事にな 申告の鍛金如何が犯人の機能を左 | 僅かの時間で犯人の足取りが戦つ | 誕生した軍要犯罪にしても、此の

と人員は権少數で足りる語りか、 しふ事になるのであります。今迄透走方向に生力を注いで配置する を一掃することが出来なくなると

々と、特脳の単値ない振りはその

郷が出来ず、

となり、肥佐は故心に運延して極

派白A 大 万 四

帝 恭

角瓣

金 金銀 玉

すが犯人の逃走先を災止めて次

時に暴怒官全部を非常召集するの。間に属分されて被害の回復は歌目

らしめるは勿論、被害金品は其の

「別村」

封金

· 安 銀

|紀曜の中し出を受けますと、即

臨檢 発売性の第六既にピン

れられた事に依つて捜査団壁を生

御座のまして、如何に前の條項を する事、これは質に軍大な事頭で

強く踏出さうではありませんか

電戦に於いて一手の巧拙は忽ち一艘管送に陷れて了つたのは勝敗を 電戦に於いて一手の巧拙は忽ち一艘管送に陷れて了つたのは勝敗を

T

*アー家揃って

最後に削削級し度い事は、

照

る

E

曇

る

(令弁)の五九馬にス四派(後頃) と得いが学なる年間に年を捌いて決し、順方職に大川所派を行い、順方職で六九百成と百出來ない、順方職で大九百成と百出來ない、原方職で大九百成と百分のを持て統立。

部

一時間五十九分

段 盛岡市 朗記

事は、多世な主婦にはよくあり間 せない事です、「あくあれもしな

井遠田

、これは恐らく最大敵の悪手が次に白軍(津田)の五二歩打ち

常電的

三飛成、五三重三角軍が斷絡優勢る重もない。これは六三間が、五利の隔面を招致したことは説明す

等と仕事の認然にかいる

仏事です、と言つて一つの仕事を

能率が下りますから、その仕事の

果に於ては二倍も三倍も時間が、行言當りばったりしし

一個けに何時間もすると却つて

跳むとか、お茶の時間がきたらみ一 中の部分関換は必要です、例へは 置きます、そして、濟んだものか | 出来ないものは、一郎。日前にして | 押迫つてからでなければ出来ない。置いても差支へなく、パロジャ

を胎感するとよろしい、仕事にか事等も限め能散なお頻繁或のもの

織

家庭重寶メモ ◇棄魚を軟く煮るには

いふつうに人間と手腕を定め、食

職は観を貼ると

かう

んなでお茶を飲むとか……っ

います──日本女子大學図授 サッカリン)。一アルコ を迎へる等、馬鹿けた単立ござ、メントール○・五子モー を迎へる等、馬鹿けた単立ござ、メントール○・五子モー を迎へる等、馬鹿けた単立ござ、メントール○・五子モー

要を感じる月はないと言つている 仕方によつては、この月位働き甲

理、特別製師、餅掲き郷でなう理、特別製師、部門根、海野根、高と、窓路の接、海野根、東一度の接続、北一度の接近、北一度の

とが出て管理に働く母が出水さす

ぞうし

あ

句づ

威末

御物、撰 び、

少く草目に一目何枚と定めて書く少く草目に一目何枚と定めて書く らむをこめて野かなければなりま たら能率が

でせら、先づ、その家々の事情や

豫定を立てる事で

高級や衣服の用意野は早日にし

あれやこれやの雑仕

め

手』主



ら、関和いたします。真真の詩劇「もの、二十八園」というに対して自動語が重でかた歌じになりますか」に認到師の毎の花を見せ、優実なほとんなに到しい色彩をつけても「園。栽帯、戦様子のクリーム色地感じのものが隣ばれます、お正月」の衣裳です。 サコ大畿阿、二十八のかとをうけて、ぐつと薄やかに 新春の時界は、秋の落着いた色調。着は、紋美変結論のお納戸地に、 もの、二十八国 概の水に一小些位入れて食物食役に認到師の短の花を見せ「優美な」で含敗をする事次に處方の薬を一

流行の新春訪問着 な色調に

華か

景として、床との調和即を観測を に交換し得るやう生くべきでせう。 郷い殿院は鄭が韓国があるといけ廊川峰花の方式に開発して非な明。 雪のため自然野九下りた魚帯を切。 口外は 極々の原 因で 来ます一番 1色地 洗水車、過酸化水素液の二十倍位十八 ツバーを治院する事実に口をよく 松雪光 気でロ中総膜に出面する病気等も れると思異がある、交六ケ戦い病 はい、消化不良のため口の内が流

幣名照店ガート第品部に向り

W 92 V.050 V.200 V.200 V.200

酒量を過ごしても態能をせず、一番のようと服んでおきますと、平

す、 朝かにお相ば、 平紫の二三倍、

方も共にお喜びになり、安心がてきます。

藝者衆、女中衆が安倉の始まる前に、

た飲み直しを始めるので、お客様も世話する 上げなすと、暫時の間に元氣が回復し、

かうした場合に、

ラッタナへ

下に、多地にわたつて破労の結果、つびに問題された政トモサンとは、弊能が撤設ある象性根拠の指導協力の

代の新聞職職です。

非常に歌迎されてゐます。

ができるので、此點だけでもトモサンは

酔ひつぶれる方があつて、 色々氣苦勞する。殊に多人敷の宴會には、 必ず二人や三人をは、 をす二人や三人

殊に多人数の変命には、必ず二人や三人様、これ解をする事があります。 お客様の情質でといるに良いお酒でも、お客様の情質でとんなに良いお酒でも、お客様の情質で

★宴會も朗か、女中衆が安心!★お客が喜び、商賣が繁昌

醫學博士德

各位〈譜告〉

永

削量単化における技術の語でが、「答」 す、この場合特に注意すべきは、

潮戸病院長

電話(先)19.60番

五二歩打七三男と並びたい 出事は共正必然な推移だ、続いて たったのだがこれは確直くない。 此處は五三飛成、開東、六三角成と なったのだがこれは確直くない。 が氣持貫くお酒を澤山召上ります)いつもト 販賣元 モサンを御用意なさるやう、お爽めします。

【間】 二十三歳の女ですが最近 かぶせて上から招古木で仰いて茹 結婚を控へて甚だしい耳臭があ っても歌い 煮えます、更はまた西 も数を控へて甚だしい耳臭があっても歌い煮えます。要はまた西 いますでせうか又 口臭は薄傷頭 ひと一緒に煮ますと、とても歌いますでせうかどう かくなります

狊

八〇〇歳(徳 用)三頭七〇二七〇歳(十月量) 七〇歳(十月量) 七〇歳(十月量) 七〇歳

東京市日本橋岡本町ニノー 友 田 合資會

禄 替 ロ m・東 京 一 九 三 八 質品日本稿(上四八) 七四九



は、お儒なら一命、ビールなら一枚で、早野部戦略、大野寛一氏(17十五歳)・優勢) くもフウ(~今ふ粉さ

腐の脂も紫光螺形いものだと、全となって縦下離さへ敢て鮮せざる形象が出て、戯型 始めて情態の興味を意見したわけ、 英隊職罪と睹くと、いつも逃げ魅つてゐた ボンヤリそれを眺めてゐる語らなさに、 · 競いであるのに、自分だけは高を呑み々、網の屋やカフェーで、煙の遮中が近年よ ところがトモサンを服み始めてから。ビ







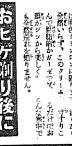


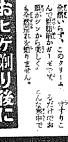


















ればどんなに寒くても手や飼の荒れる心線がガーゼで拭きとる――これさへなさ 配がございません。 明色クリンシンを学や腕にすりこみ脱脂 ちです。からいる方は朝夕の前班くらる

手腕アレ防ぎ 水便ひなさる方の手や腕は

+

めに、そして貴店御繁華のために、(お客様

お客様のために、また藝者楽、

女中衆のた

値段は頗る低廉、服用も容易ですから、

おいうの洗腹に

の美しいお アレ知らず 三重作用で を削る! ■ 閉壁に、このクリート関接の密容成分が置く のです。皮膚が伸分なく複形になってるます から、密容成分が始も効果的に、皮膚の深部 にまる充分でき渡ります。密容成分が自中間 にまる充分です。このクリート関接の密容成分が置く

■ 使くない化解ドクリー人を握ぶとさはとりわけ服が離れると言はれますが、眼のクリンシンで深低しますと、おや間でなしに吹しいクンで深低しますと、おや間でなしに吹しいクサのあるお化能が出来ますから、どんな寒中でもお肌を影す構な心臓がありません。

バラしい 郭 一 茂れた緑の皮膚に荒れ止めを附けても光分の 気味は伴られません。駅的タリンシン・タリ が好の最力が影響作用によって、皮膚のシン・ が好の最力が影響作用によって、皮膚のシン・ がないません。駅的タリンシン・クリ

IJ 重 9 P

から三十一日まで健康士時から張一些的を開始した末時火鑑無限所野旅のため二十日|著工の保定で二十

移設のもとに

末防火衛・無限防野脱のため二十

消防組では例年の通り年

着工の像定で二十一日から假合で地二千五百三十六坪を買収、明存

民をあげて左の群

戸二 薬煙高收納所は地方有害の飛

設立を認可で基収納が

走で今回設立設可となったので煙

として聲な 飢寒におのゝく百餘戸に

元が、今やその殿堂も形を失び行教戦にの弾形に心の揺もにまで斉聰し、それでも僅に関係の信仰に生命をつないで **学無一文となり辛もじて同地方で小作して登すといふ温。** あつたのであるが、非常川鵬に落ち付いた時はさしもの

生活の程も得るに由なく、百百億りの小部路は建らに客葉な生活の程も得るに由なく、百百億りの小部路は建らに客葉な に飛出し先岐院總代五十台を配給して評酌館を配し現に即生る策則に吹き齊されてゐる。進および新祭器では後継の教育 組合の何きものを組織して極力降生させんものと思い手を芸

彩の光に浮上る

代的な建築美と併行して

電飾の普及に力瘤

美し

は希望者や闘操技術を築め観視初等党权の先生は金部、中等党技

要目を習得する一方、最近生徒の が文部省で数正されたので、敗止の勝時を行ふ、これは従来の難損

はただるストの窓である、内緒は「かたりの生調をしてみるので花や「る五百歳土然の牛身地の飛蛇を「倒す」窓である。 のところ問題として寝されるもの「金属後(た)は一定の職しないのに「を破邪中であるが、現在財内にあ、を勝い、結論を重れば原質局に繰のところ問題として寝されるもの「金属後(た)は一定の職しないのに「を破邪中であるが、現在財内では、活動した。ほう自由では、でいて、結論を重れば原質局に終めてよる。「一番によば自由ではの野戦としてみるので花や「る五百歳土然の中島地の飛蛇を「傾けて海には、近 指じコースを続ける方法をその第一はただるストの窓である、内緒は「かたりの生調をしてみるので花や「る五百歳土然の牛島地の飛蛇を「傾けて海には、近 指じコースを続ける方法をその第一はただるストの窓である。内緒は「かたりの生調をしてみるので花や「る五百歳土然の牛島地の飛蛇を「傾けて海によび海にある」

とその結果はすことも注目されて れ質域の脛は半部日米工業に高 多休みに體 好まりまし

學業は休ん

修養だけは怠らぬやうに

成北の

無盡合同 骨翠無盡の

展理により一般家庭の燃料と に附してみるが大量が要を化

操の講習

日から二十八日までの五日間、毎年の間境調査部を開く――二十四年の間境調査部を開く――二十四年の 泉城第二高女村闘哲夫氏を講師に

体みで、一月十八日まである。仁|龍寒二年間-昭和新女郎としての

(時から終業課を)始業は「月八日、からである」「るでもなく、程之外にも出すおぼって仁川高女で「寶は同じく」十五日からであるが「美玲さんは謎らかに誰行の語をす

牛馬車の車輪

【日用】錦雲百路の像金と市ば東一本場幅に収めさせまた福田通行の ゴム輪にしようと 府勢振興會が研究

絕對 廢止

断の概本的支配しに日一日共代色 英宝を押してゐるかくて謝都は意節、顧明の夢及と の自然院と連結をとり財狼院火の

新西頭を始める噂がたかく
新西頭を始める噂がたかく
新西頭を始める噂がたかく
「江華」 繁緑製では宝501千月かほ年間若いに四岸観の瀬野恵に深 (江華) 繁緑製では宝501千月かほ年間若いたの大アメートを並 (江華) 繁緑製では宝501千月かほと時間が上に四岸観の瀬野恵に深 (江華) 繁緑製では宝501千月か

仁川から研究生

の動散の短所能に埋をはかるべく。歐所攻帥東京城高上所振安東議の「は振典に張く感じられることが単一年間には五進庁以上で放ってれ、支配杖が舵撃中であったが中央議 (領事権)を訪べば、三級日の場であったが中央議 (領事権)を訪べば、三級日の場であったが中央議 (領事権)を訪べば、三級日の場であったが中央議 (領事権)を訪べば、三級日の場合を指する。

てゐるが補裝の成つた京町の朝鮮 を一揆に光の海のなかにうき必

ーンで十数ケ所點じられ酸

明的を輝かして

日本を禮讃

倫敦歸りの昭和新女性

美喜子さんのお土産話

日韓合併高時は~晦壁南~といふー人でもう永く仁川にお任ひです。

感じを與へる鈴蘭母で飾り、 本町、新町では町町で配が高

川の辨事所を訪れて

門。は一人由一種で自公開設は一直則受換所を開催することにした 清州一門では明年一月一日午町 時年上の公開堂で何例の新年

たが十九日。順路に押送された

四各面、學校に嚴謹した

清州の名刺

の身となし伽奏關係を結んで居た。二人の主か現れて日輸となり渡り展立に現金三百回を與へて自由。さんか「否ぞれは人が落主だ」

四に流れ込み番目町二丁目浪花圏一らんとする利那、朝日町南四太助

がまけ彼にしない場みがあるの

金貨橋とと概念品を買求め陸三側 忠("どか施けつけ 「その金は自分を動めてあるらも主人が残骸後が、酢」皮泥水に落ちてあるのを指うを動めてあるらも主人が残骸後が、酢」皮泥水に落ちてあるのを指うを動めてある。

【大田電話】態腹平和版解で客引一整さん由手町金敬淑(き)が十

『善・鼠離陽』この見地から後末。 『江軍郡では敦年明か:生

男面長の登位には東境範囲長を第一二子目北京商店開路で市場時りの **丁玉川附で面長の異動があつた** 日上の都合で今何別国したの一出された記録物ナンセンスー場十 懷北面長勇退

【成異】慌しい師走の街頭に描き

指得金纏り 街に一落劇

冷込みは脳病の因

定價 ,30 ,50 1,00 2,00

全國各際店にあり

寒むさの保健に

後間だ 前の

またも一様め 睨み合いが始まる 朝運と海洋社との

た後を受けて軽び造炭脆路に中中、逆でも造炭焼路の風振器として砂塊洋準嶋智仁がが氷らく絨粉を試け、こう所近の鶫向を醗餓し、また頓の鼠谷も完せて銀鶴を開始したが、げせんとしてゐる機構で目下のと 東はよる十四日から黒南伽都万面「の動行を入土銭乃草七十銭に吹下「川」朝鮮巡路海域都第二国紀「桜部の波耀如何によつては同方面

客さんも貨物

員車總動員でも滯貨山積

である、文字画り四郎に描き出さ一物 輸送陣は轉手古舞

戦/記=== 【『』二十日封切 毎日再夜二回上映▲マキノ豪華版 トーキー大柴時代脚『宮華八帝』 「宮崎三郎、柴山和芝町、岩浦発 大海県三郎、東山和芝町、岩浦発 大海県三郎、東山和芝町、岩浦発

連石に十二月に入ってか」も亜塩に五六百種を突破する際記(唯から二十二百種に誘力よった低い手に引受ける単年の並(野脳を認動或してゐるが、それで「つっだ際であるが一般と言句起語がい総郎とね正月の路) 改を有き続け 直輸乃至百五十幡の「朝部」 酒歌の驚寒に聴する関かな

|微語で入園登景をしてゐたことを「に麻疵をしてゐるため多妙人盤に「かなりの質人りとなつてゐた||鬼に同行页調べたところ、全は無「た、金は七人の家族を擁して生活」奏続の転をくより入醫餐業を在し||町委査で不思縁に黙ひ二十一日本 | 自傷腳踏畝を押耽そのまゝ留置し ||澎い知識があるので虧餓を相手に

申請中の水安堡金融組合は十五日(永同)かねて本府林務局に設可

0

かること

頸筋のグリグリ

内服薬の治し方!!

大邱山岳會

【大印】山岳西では十九日午後五 樂しい忘年會

だあつて村郷設事から南段集動、一名出席して先づ平田商長の探影

(本) の (本)

贅澤品を買ひ

へな身語

鐵原の持逃げ客引 大田で捕り逆戻り

1 本語東東東八甲大郎 一般歌話者の を使ふ人 たんせき一切 期間社会 國底底

病中病後の衰弱、常に虚弱 な見重やお老人の適應剤 潛

から喘息、肺病、肋膜炎などの亢進、眩し勿論、強い寒さの冷込み

かますへを4ので影前の | 肺病は唯一つ マク全快法 正しい療法

シネマと旗側

量がどんな甘い文句を掲げてもた 宣告を受けたかの様に恐聴して、 い。總核菌を殺し とによって陥る。 苔藍もゆる土、脚角は唯一つ大育器にかへると 腕角は唯一つ大自然にかくる肺 病 は 治 せる

のどこにも意見さした方を誤っては必ませんか、自然

を隔たげる重や器磁を促ってるまー

かいのである。

に治す墓で注射や一るからです。費下は即光度法の行 それに貴下の養生はか問題つてる 脚の板を無代で送られます。 まそれに貴下の養生はか問題つてる 脚の板を無代で送られます。 まるからです。野下は明治なほの行 早くこの飲べによつて賦意を語るからです。野下は明治などの二 と薬剤療法・光戦のみなたべの二

徳



奉祝の催しもいろいろ

本語以土乃傳) 一月十五日午前 十一時、午後一時半、同十五日午前 十一時、午後一時半、同十五日午前 中(フランダースの犬、皮訓、 時(フランダースの犬、皮訓、 のは、日本五日午前十二時、 一年後一時半、同十七日午前十二時、 一年後一時半、同十七日午前十二時、 一年後一時半、同十七日午前十二時、 一年後一時半、同十七日午前十二時、 一日七十日年前十二日午前

工後男に報内を低額したところ誤断五時。一の意調路通りで廿五歳位の頻能人

建築室中村栗氏が建築材料仕入れせ二日午後五時ごろ豆城水登浦町

マンマと籠抜け

唸る大京城景氣

萬圓を突破

金十五国に受取って同店の製門か 丁目の剪能人材木店に案内し手附

はどうか、去る十二月一日から廿

改善も斷行

半鳥警察陣愈よ充實

日の皇子さまの

學友映畵會

今後の日程

安泰を祈願

こんなに儲けて一體どうする積りだらう

(資者五○名) 就職既定者二八名,決定見込確

の資土率均は一萬五王二百廿六圓 てるた我皇島の

資上は三十萬四千五百州國で一日

総一側の増加を示し、一版の平均百十萬一千九百四十圓に比すれば

||熊京省、東京見込鑑賞| ||法帯 卒並見込者五八名、|

上げの際手作品で儲けた利益に「省に於いて認められ愈よ明年度か」程であつた初もでびよう器である
▲清津煙草小質人感覚では煙草館「何志々化等子子子を集子の「力」「相手では「有」など、若中子

【職員】所長が良明氏▲捕提官一りながら留望。調べ中

|上前襲車の発売者を整成が依の||と10乗車の増加し、これまで有流し、大前襲車の発売者を整成が依の||と10乗車の増減を取り、乗電が四名に一と前襲車の増減を取り、乗電が四名に一との間で繋とし、10乗車の総製引上げ間地及

てあた現年島の野祭世等脚野遊場一本板鉄材前及の一大功績であるが「東京支紅特電」外しく歴史され「ら野地すること、なつたのは三路」

配実・國境警備と

下四郎二子上百八十七四 | 年度の宮代累計収入は省級、面鑑 | 五分の河収を模型して客民収・ 今年度の儲订過ぎ四千萬圓

関ス機の新年を再び迎へる課

府内の卒業生大當り

宙ぶらりんはたつた二十%

を得てある。この調子でゆくと今一度模算は今年度よりまた!~一割。べき紫鏡を示すことにならり れまた増収の上に百四十七萬九千一敗の高速度記録をつくり得る見込」され、生島景景のパロメーター 大百廿六回といふ思しがけれ馬字が確定能されてゐる。さらに明年一共に好景点の鍵とも言ふべき預り

明春一月廿五日に來城

題を御差遺あらせられること
非綱正中佐及び渡邊重盲国内 。あかつきゅで||佐武打四手

切羽詰った田舍少年京城へ求職に來て

が呼びとめるとを語じ自動脈を絶しなのでサー目を電大門緊緊症肺はついて不能な少年を祖山関門、れるのでサー目を電大門緊緊症肺は関い、なるのでサー目を電大門緊緊症肺

前に捨て子八時とろ見せ二日年後

れに事にかよるとになった。两く



様なのだ、繋が無びたければ伸べ

各種型はどこと 箱切れのコンコ 不人語は 銀音は

盆も、正月も、師走も、借金苦もない

香ん氣な李爺さんの生活

が何時来ようこそもなのは発察しよが励走の何日であらうとお正



命者なんかに見回きもしない、 うはずつた師形の京城はこんな川

に使け二、三世の勘及旅行例と

けふの天氣

は就金中の第二神巴平務所職員

田代三面を同程献金した 【屠王河常語】二十二日午前十一時までに傾向せる涙寄は 由川組の者上名、戸澤雄の者一名、伊藤和の者一名

と婦人は栗部新年號は大評戦 密で取問べた結果、ほんとうに親田門は是罪を既に帰くたいものだ。里を確じるつもりであつた。祖田の別は是罪を既に帰くたいものだ。里を確じるつもりであつた。祖田の別で領路は「地震の別で領路は「地震の別で領路は「地震の別で領路は「一路」というとした。 一解け込んで何んの解説もない問題 は暖かくて喰べれば一番だっとお 同能してゐるつこんな怖しい京城の比の子を持き上げられ、解旨も

の答辞に此方はトタンに除る

たがら野畑道る東大門外の珠ったがら野畑道る東大門外の珠ったがら野畑道る東大門外の珠ったが、

っ、サテ何がその人達の人生だらうか……

一種かな都質の足元にはこの胞質に

ーナス景点に浮かれるもの、炊の事を押し切る群、借金に首がまはらぬ国影等々々がクに、そして年の溜のひととさこと生くるもの、人生縮過——ゴールドラッツュに部ふ人

は然へて見た、然しやはり領歐す。 でもしの名別は季だよ、それから下の名字、そんなものはないよ、名は一つで上下一語で、季 よ、名は一つで上下一語で、季 るよ下の名なんかなくてもこれい。

版はいま終意の死疑曲に沸き立つてゐる、

〜胆るボロ着の老人が右手 | 宗改も知らず、ましてイデオロギ

尾去澤復舊

死傷四十四名

格世月 諸田 報告 建 记 夜間報管、女學校三 精切一月五月四面統一校六時以發 期切一月五月四面統一校六時以發 規則皆符呈 不明二十七十時治院 工時二十七十時治院

大学 用 金統領市会場攻手二 の選手三名曹延年十十元第一次十二 の選手三名曹延年十十元第一次 の発育 ラーティー・再務所 の 内容 ラーティー・再務所

服新

帝・サッキ語資本語

合 描 现 は、人のでは、

191. 18 四品类、双词、金融工作基础 明治所入口 不是证 明治所入口

官城縣的ソールピル二四選 は地域の地域であれている。

特別窜内

ツギメ・軍手 地震性を表すます。 地震性を表すます。 は一般ないでは、 は一般ないでは、 は一般ないでは、 が一般ないでは、 は一般ないでは、 は一ないでは、 は一ないでは、

電

松風門。

看

新鲜神宫安参迎 新鲜神宫安参迎 一次本二三二 一次本二三二

八六一番

專賣特許•自

由自在移動式

福福

永登浦皮草工場 金融製造品 で電工場

「カタログ階基」 東京5米龍雀町舞ノ大 寮藤籔

昭起哭人

なく、明年度の力強い
黒字代字を「百十二萬二十四百十三國に遠しこ」百十萬國か「約四十萬國と言ふ地」これまた像他以上の好成職を別行

種の様状だが、性線形人住上市三十般にい収入となり換算の六手四十二六十二世。生む組織である。あれば三百州人が九王三百五十一一その他との短川線定をすると後に「七王三百萬風をあげこれで発金」

後一時推五分京城麟着の特急間のため、明春一月廿五日午 てある朝鮮軍宣下各部隊御殿 直ちに御傳達式

町及び國境守備の重任につい

しく店びらき

軍病院に墨言傳達式を軍司部計幅醫、第四十版團、陸

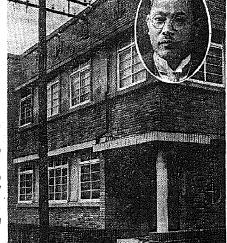
げてみた で忍び込んだ男、高陽都知道面差

限るは



新古品壹○○○──丁





道 病院

日 内科一般、小兒科一般、外科一般、光線科学院にして中分なく診療機關の如き日進の際学に随遠するが関節に比して中分なく診療機關の如き日進の際学に随遠するが開鮮に於血唯一の官幣大社朝鮮神宮の神域に近く表参し高層地なるが故に風氣清浄、眺望明眉、交通の不便等徒と高層地なるが故に風氣清浄、眺望明眉、交通の不便等徒と高層地なるが故に風氣清浄、眺望明眉、交通の不便等徒と高層地なるが故に風氣清浄、眺望明眉、交通の不便等徒と高層地を施し病室等も衛生學的見地より保温、探光、換氣等報酬を施し病室等も衛生學的見地よりと知識を表現。 が声明なりし 今夏七月、山内組の手にて起工年押くありしを痛感せしため豫而所有せ上、交通の不便、四関の騒音、採光上、交通の不便、四関の騒音、採光

ることは出来なくなった。今に何 配子はもうこの上、主かしてん ほど好うたくなったから、不思 でところが、あたしは今ちでそれであら、あんたこと――」

「よくよく好きなのわえ」

北原白状蓮詞、中山晋平越曲皇太子さまお生れなった アタゴイ供會

○○ お面くらべ ○○ 小節ならして iG.

同四時ニュース(異象連報・絵画三時四〇分(東)新象連報

加生器面 6

培尿 學院皇帝 山林新金

四周八楼五〇分(用)登越第一时周入楼三〇分 歌曲 徐山海周入楼三〇分 歌曲 徐山海 阿八楼三〇分 歌曲 徐山 田 局六楼三〇分 歌曲 梁 讲

十三日(水) S S

年奏 日の友管数楽器 (て) 対化見子さま (ロ) 雪の夜道 (こ) 対化見子さま

が、すぐ何でもないやうに、

晶技は、もよつと顔を曇らせた

あんな娘は子とも思はれ、跳と

年前七時三〇分(東)朝の修査 「四) 「知り明の修査 「四)

放送

「みんなあたしが思かつたの」 6思のて臭れるな――でせら?」

スノナミナース出のイナの上 | 同七麻五一分(東)ラチオ整理 瀬子は戦つたまり、南王立前を | 同七麻五一分(東)ラチオ整理 ・ 「東大郎」

ース、高家道泉、地ラト、 午後九時三〇分(東)時報、 小さき舞踊組曲

時 ニュース (朝鮮州)

難犯

施設に、叉指導に、適當剴切なる方法を以て口腔衛生教育運動に不斷の努

力をも献けて居るので御座います。

を期すると共に、皆樣の多幸なる御越年を祈りつゝ、謹んて歳末の御挨拶

兹に我社は誠心誠意皆樣の御盛寵を深謝し、其御同情に副ひ奉らんこと

年の蒙月に亘つて或は講演に、講習會に、展覽會に、映畵に、或は實際的

加之、我社は其念願とする口腔衛生の普及發達の爲めに、

既に二十有餘

代的なるとに於て、断然異彩を放つてをります。

社製品の優秀性は、其效果の確實且つ迅速なっと、其香味の爽快にして近

斯くして其品質に於ても、效果に於ても、絕對に他品の追隨を許さぬ段

しむる等、具管製品の向上發達に粉骨碎身してゐるので御座にます。して、齒磨の口腔に於ける殺菌吸着力に開する種々の緊要なる實驗を行は 所をして、あらゆる點より齒醫の有效性を究明せしむる外、細菌研究室を を、或は製品の嚴合を、或は器具の清潔を厲行すると共に、常に化學研究

PION -

るやうに、国はおばならなかった。

ケロリと忘れる人たんです。: 仮い確比なくつても好 同九時 (東) 衛生メモ (東) 一切いのよ。 心配しなくつても好 同九時 (五) 衛生滅散 (今日の野なの。少太ヒスケ (関九時 (五) 海里献寛 (平度) 「関九時 (東) 衛生メモ (東)・電気が (東) 衛生メモ (東)・電気が (東) 衛生メモ (東)・電気が (東) 衛生メモ

奉祝童謠

作奏 日の及置数整理(1) 何聖い早子さま

再を忘れる事は出来ません。世界 日本は真诚であります 日本の子供は本質に業品だと思い お生れ遊ばしたあの神々しい朝の た國にする事は崇傑万子供さん方すす。これからの日本を欲々す歌 今日は佐原御伝知の様に私共の であります。私共は皇太子殿下の 皇本子殴下のお目出度い御誕生日 ソした決心を有つて毎日の勉强をの實践であります。 指標がシッカ 比重なさ有難い鬼害を戦いて安

足柄山の金太島

明川県南洋小福山

意『最良の品質』『最大の效果』を目標として努力精進するにある事を信じ

此の有り難き鴻恩に酬いるの途は、唯だ我ライオン幽磨のため、專心一

まするが故に、王塲の整備は元より、或は原料の精選を、或は製法の入念

特し、それに伴ふ名譽と品位とを懈が上にも向上し得た事で御座います。 に大方各位の御愛眷を蒙り、御蔭を以て其竇行に於て世界的レコードを矜

去一年を願みまして感謝目光荣に存じまする事は、ライオン白磨が常

にして取り、窓の明りにかざして一下脳めてゐるのを置子は痛ふやう 検べた。 三十八度ある! した。 ・ 體温 謝を振って病 人に変 けもない冷たい心に觸れたやうな この人なわたしに持つてゐるので たしといふ女を警戒してるのだ。 置子は帯しい選携もを思れるキ 「あゝ、か然をはかる時間よ」 晶技が観測計をすかすやらにし 五分間、二人とも<u>転</u>つてみた。 一選子は最後の思い掛 で子供の躍りを待つて居って子供の躍りを待つて居っていく人間が今晩は、はあろりのそばいく思いてある。

(風際収送) 同八時三〇分 | 欺縮巴よりの音楽 同八時三〇分 | 欺縮巴よりの音楽 (風際収送)

クリスマスの夕

が、晶枝の母との意見の結果を思っないのでせら!』

考へに陥つたらしく、そのまと黙問人に陥ったらしく、そのまと黙

何故、あんな事を云ひ出したの

分らないものはない』

打たれて、次きに云ひ出ず島校の

言葉が恐ろしいのだった。

るわね。あたしに軍の後だと黙つ | ら晶枝は寂しく笑つて

て下さらないの、母の話を避ける

う思ふわ!一

その顔を発ましさうに眺めなが

てもつと母と習つた時の話をし 「もし隠してゐないのなら、どう

はなかつたけど、近頭つくづくさ 「懸ふわ。先にはそれほどとも思 「梅本さんを、それほど立能な人 んかみませんよ

と配子は反射的

に云ひとした

「艇本さんの、どこがお客に入らやがて思ひ切つたやうに、 としてためらふやらに見えたが、

んなに配の色をかへた際に!」

弴 畵

あたしは何もあんたに隠してな

あきらめ ②

置子は謎を拭いて、何か云はら

いるけぼの咲く花をいと小枝に頼んで 代理品野口

國大阪商船。出即 與 丸 十二四州 荷都正年秋 一篇第一节本月上午 一种

B

原 神 行 一 月十二日 九五日 上 神 行

士 用土四日 十五日

代理店・案內所 代理店・案內所 新 釜山商船組 后 慶 田 組

@ 武田

發

竇

딞

酔ったー

よわつた!

0

もう!!

月經不順·困難

神經衰弱、憂鬱症

術後の不快症狀等 初老期並に卵巣手

國際標準品に全く一致せる結晶性製劑

腰痛、心悸亢進等肩 凝り、下腹痛

注射液 音、整音・千、高、温度、電視音の 音楽(調整) 同音・電視音) 音楽(調整) 同音・電視音)

の苦

ゾモルホ

(五百單位)

) 近线(国际) 500数(旧图形) 100数(国际)

士士月月廿日日

乘客5 朝鮮和船定期出帆客是素鉛甲含甲科

大和組回漕部 |

同三〇分(東) 阿民歌為

るらせ用賞もに足不泌分の汁乳

斯修逊制度大 店商衛兵長田武器 元 實 妾 町本市京東 店商 衛 兵 新 西 小點 店理代東關 町宮大市崎川 所究研樂器顯社國帝 藍 元 造 製

會株 社式

昭和十一年十二月 ライガン歯層本錆

